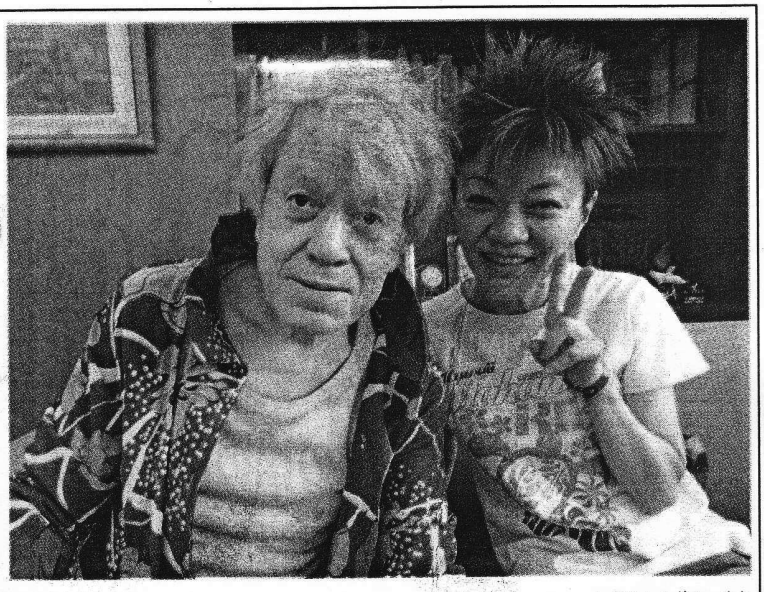
兵藤ゆきの おじゃましま～ッす！



只今日本で一番人生相談を受けている心温かき人
作家 志茂田景樹さん登場！

▼ひょうどう・ゆき　1996年長男誕生後、夫の留学先のNYへ。NYでの子育てと英語獲得奮闘記をまとめた漫画エッセイ『英語と格闘in New York』（NHK出版）などNY関連の著書多数。2007年夏家族で日本に完全帰国。

心に響く名言や、質問、相談に温かくて的確なアドバイスを送る人生相談など、景樹さんの発信するツイッターのフォロワーがただいまなんと24万人越えの超人気になっています。1976年、『やっとこ探偵』で小説現代新人賞。80年、『黄色い牙』で直木賞。84年、『気笛一声』で文芸大賞。94年には、『日本文芸クラブ大賞』を受賞と、日本を代表する大作家の景樹さんですが、私はNYに行ってしまい、なかなかお会いする機会がありませんでした。ところが、たまたま東京の街でお見かけしたんですよ。でも、それだけじゃつまんないなと思って、自分が漠然と思っていること、気になっていたことを140字以内にまとめて発信したら、たくさんの僕と同じようなことを考えているんだな、決して難しいことじゃなくて、決して突飛なことじゃなくて、当たり前のこと。でもそういう当たり前のことを多くの人が考えているんだと思って、じゃあ、ずっとそういう感じで発信していこうとしたら、感想を返してくる人たちだけじゃなく、相談事を書いてくる人が出てきたんで、それに答えているうちにこんなことになっちゃったんですよね」

さすが景樹さんは文学者ですから、140字で的確な分かりやすい文面で、なおかつ文学的なにおいのする答えが返ってくるので、相談した人もうれしいでしょうし、それを読む第3者も、オーなるほどなあと共感されるんでしょうし、なにしろ答えが前向き、ポジティブなのが私大好きです！

景（笑）そう言ってもらえるとうれしいし、そう言ってくれるフォロワーの方もいらしゃるんでうれしいですよね」

今までの失敗は、未来をよくするための貯金だと考えるようにしましょうか、とか、つらいというだけでは状況は変わりません。少しずつでいいので行動を起こしていきましょうか、とか相談してきた人への返事、こういうのいいですよね、景樹さんのツィッターがまとまってもう何冊も本になっていますが、フォロワーの人に景樹さんから直接返事が返ってくるのは超うれしいですよね。

景「もちろん全部に返事は書けませんが、1回20個くらい返事を書くときもありますよ」

わあ、それは凄いです！さて、景樹さん、NYには最近行かれました？

景「うーんと、2008年の3月に『蒼翼の獅子たち』という、明治維新直後にアメリカの東海岸に渡った日本人留学生4人の実話をもとにした小説を書くために2週間ほど行きましたね。ブロードウエーのマリオットホテルに滞在していましたが、寒かったなあ～。セントラルパークをジョギングしたりしたんですけど、手袋がなかったんで、ずっと手がかじかんでいました。でも楽しかったですよ（笑）」

（笑）ああ、よかった。ではこれからも、小説にツイッターに私たちの良き先輩としてさまざま発信してくださるのを頼りに、そして楽しみにしています。今日はありがとうございました。

景「はい、こちらこそありがとうございました」

■景樹さんのツィッターのアカウント
@kagekineko

●読者プレゼント●

志茂田景樹さんのサイン入り新著『人って、みな最初は石ころだもの』（ポプラ社）を抽選で1名の方にプレゼントいたします。希望者は「兵藤ゆきさんの読者プレゼント希望」と明記して氏名、郵送先、連絡先を添えて5月2日までに編集部宛ファクス212・213・6451、またはeメール info@myseikatsu.com へご応募ください。